

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00240 ）

事務事業名称		青少年育成			款	04	項	02	目	01	事業	005	整理番号	255	
現担当課名		児童青少年課		係名	青少年係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	261			
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和29年度													
	平成30年度担当課名	児童青少年課			事業評価区分 一般										
	対象	区内在住・在学・在勤の25歳未満の青少年、地域の青少年健全育成団体			根拠法令等	(1)		杉並区青少年育成委員会補助金交付要綱							
						(2)		杉並区青少年善行表彰要綱							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区内17団体ある青少年育成委員会などの地域の青少年健全育成の活動を助成し、これらの団体が行う事業活動を通して子どもたちの健全育成を推進する。善い行いをした青少年及び団体を表彰し、善行の気運醸成を図る。			活動指標	指標名（ 1 ）		青少年育成委員会の総事業数（共催事業も含む）							
					指標説明		青少年善行表彰件数								
					指標名（ 2 ）		個人表彰人数 + 団体表彰団体数								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	青少年健全育成団体に対し、補助金または事業共催分担当金を支出する。青少年によるボランティア活動や地域協力などの善行に対し、表彰を行う。すぎなみ舞祭を開催する。			成果指標	指標名（ 1 ）		青少年育成委員会実施事業参加者数（共催事業も含む）								
					指標説明		共催事業参加者数								
					指標名（ 2 ）		すぎなみ舞祭 ボーイスカウト・ガールスカウトとの共催事業参加者数								
					指標説明										
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標（ 1 ）	1	件	306	400	291	400	313	400	78.3					
	活動指標（ 2 ）	2	件	256	200	149	180	307	200	170.6					
	成果指標（ 1 ）	3	人	85,078	100,000	85,732	100,000	80,292	100,000	80.3					
	成果指標（ 2 ）	4	人	1,645	1,650	1,427	1,650	1,292	1,650	78.3					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	19,277	19,677	19,234	20,381	20,246	21,277	平成30年度予算執行率(%)	99.3				
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	（内）委託費	7	千円	149	210	69	184	71	97						
	職員数	常勤職員数	8	人	2.60	1.50	1.95	2.00	2.85	2.20					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	1.10	1.10	1.15	1.60	1.67	1.70					
	人件費	常勤職員分	11	千円	22,261	12,843	16,752	17,182	24,014	18,537					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	3,268	3,268	3,386	4,710	5,159	5,251					
	総事業費	14	千円	44,806	35,788	39,372	42,273	49,419	45,065						
	単位当たりコスト	15	円	146,425	89,470	135,299	105,683	157,888	112,663						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引：一般財源		21	千円	44,806	35,788	39,372	42,273	49,419	45,065						
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

				整理番号	255
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		青少年育成委員会活動への助成	17	件	17,000
		青少年善行表彰の表彰状授与及び記念品の贈呈	307	件	801
		すぎなみ舞祭、ボーイスカウト等共催事業の開催	5	件	2,070
		その他(青少年育成委員会に係る消耗品の購入及び郵送料)			375
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>区内17団体の青少年育成委員会に対して助成を行い、青少年健全育成事業の実施を促進しました。 事業数：313 参加人数：延べ80,292人(昨年度291事業、延べ85,732人) 青少年善行表彰は個人、団体合わせて307件、1,292人を表彰しました。(昨年度149件、1,427人) 青少年健全育成に関わる団体と地域協力者等で実行委員会を組織し、「すぎなみ舞祭」を下高井戸 おおぞら公園で開催しました。 来場者：延べ12,000人(前回4,000人) 参加者：1,051人(前回1,138人)</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>【青少年育成委員会委員数・事業参加者数】 H26：931名・93,648名 H27：921名・72,324名 H28：950名・85,078名 H29：961名・85,732名 H30：948名・80,292名</p> <p>【青少年善行表彰・受賞者延べ数(個人・団体)】 H26：145名・41団体 H27：152名・30団体 H28：221名・35団体 H29：124名・25団体 H30：280名・27団体</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>青少年育成委員会の主催事業については「地域で子どもの成長を支えるためには不可欠な活動」など、地域における青少年の健全育成にとって重要な位置づけとなっています。 青少年善行表彰は、毎年の表彰を受けることで青少年が自ら進んで継続的に善行に取り組むきっかけとなっており、推薦者や学校関係者から肯定的な意見が寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>青少年育成委員会は、地域や学校関係者を中心に組織され、長年にわたり健全育成に資する取組を続けてきました。今後もこうした取組が維持されるよう、区の支援を継続していきます。 青少年善行表彰は、表彰された青少年自身の励みになるとともに、他の青少年の模範となり、善行を促進する取組となっています。今後も推薦に基づき、150~200件程度の表彰を継続していきます。 すぎなみ舞祭をはじめとした青少年健全育成事業は、地域振興としての側面もあることから、地域住民や関係団体等の声を聴きながら、引き続き実施・支援していきます。</p>			
評価と課題		<p>青少年育成委員会は、長年にわたり青少年の健全育成に資する活動を担ってきましたが、構成員の固定化や、実施事業の硬直化が共通の課題となっています。これらを解消するために情報を共有し、互いの活動を参考にすることで各育成委員会が活性化されるよう、活動報告会等を検討します。 青少年善行表彰は、広く善行を周知することで他の青少年の模範となり、新たな善行を促進する効果があることから、引き続き実施していきます。一方で、表彰者の増加に伴い、全表彰者を一度に表彰できる会場の確保が難しく、各校での表彰や、表彰式の複数回実施等を検討します。 すぎなみ舞祭は、青少年の健全育成だけでなく、会場地域の活性化にも繋がっています。一方、これまで活用していた東京都助成金の対象外となるため、財源のあり方を見直す必要があります。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>すぎなみ舞祭の財源については、東京都助成金が対象外となることから、実行委員会において、収入の確保と支出の削減、主体的に運営できる事業規模を検証した上で、区として必要な支援と助成を行います。東京都助成金に頼る部分が多いことから、助成の拡大が必要となる見込みです。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00241 ）

事務事業名称 青少年の自立応援・社会参加事業			款 04	項 02	目 01	事業 006	整理番号 256				
現担当課名 児童青少年課		係名 青少年係	連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号 262						
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和25年度									
	平成30年度担当課名	児童青少年課		事業評価区分 一般							
	対象	区内在住・在学・在勤の25歳未満の青少年		根拠法令等 (1) (2)	成人祝賀のつどい実施要綱						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	青少年が、社会を構成する主体として自覚を持った成人に成長するよう支援する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	成人祝賀のつどい出席者数 自立支援・社会参画事業実施回数 成人祝賀のつどい実施回数・アンケート実施協力校数 夏の青少年ボランティア体験事業の受入事業所数						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	<ul style="list-style-type: none"> ○成人の日に成人祝賀のつどいを開催する。 ○中・高校生の参画による情報サイトを運営する。 ○社会福祉協議会と協働し、夏の青少年ボランティア体験事業を実施する。 区内在学の高校生を対象に、将来の夢や仕事に関する意識調査を実施する。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	自立支援・社会参画事業参加人数 各実施事業の参加延べ人数 将来の夢や目標を持っている、または持つ必要があると考える区内高校2年生の割合 区内高校2年生に対する将来の夢や仕事に関するアンケートの集計結果						
区分		単位	平成28年度実績	平成29年度計画	平成29年度実績	平成30年度計画（目標値）	平成30年度実績	令和元年度計画	平成30年度対計画比(%)		
指標	活動指標（1）	1	人	2,192	2,200	2,153	2,200	2,097	2,200	95.3	
	活動指標（2）	2	回	82	90	69	90	136	21	151.1	
	成果指標（1）	3	人	6,690	6,000	7,249	6,000	7,363	7,000	122.7	
	成果指標（2）	4	%	90.2	90	89.4	90	89.8	90	99.8	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	9,284	12,486	11,004	8,620	8,211	10,230	平成30年度予算執行率(%) 95.3	
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 活動指標（2）では、夏の青少年ボランティア体験事業を令和元年度から社会福祉協議会の単独事業としました。 成果指標（2）は、より実態に応じた数値にする観点から、将来の夢や目標があると回答したものに加えて、必要があると回答したものを含めました。	
	（内）委託費	7	千円	7,232	9,509	8,360	6,252	6,203	7,939		
	職員数	常勤職員数	8	人	1.40	1.00	1.02	0.70	1.10		1.00
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	0.80	0.60	0.50	0.50	0.50		0.40
	人件費	常勤職員分	11	千円	11,987	8,562	8,763	6,014	9,269		8,426
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円	2,377	1,783	1,472	1,472	1,545		1,236
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	23,648	22,831	21,239	16,106	19,025	19,892		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	10,788	10,378	9,865	7,321	9,072	9,042		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	23,648	22,831	21,239	16,106	19,025	19,892		
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	256
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		成人祝賀のつどいの実施	1	回	7,272
		仕事や将来に関するアンケート（高校2年生対象）の実施	19	校	57
		青少年地域情報サイトの運営業務委託			497
		青少年ボランティア体験事業の実施	1	回	94
		その他（消耗品の購入、郵送料等）			291
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>成人の日に「成人祝賀のつどい」を開催し、対象者の4割を超える2,097名が参加しました。社会福祉協議会と協働で、夏休み期間中に保育園や児童館等でのボランティア体験の場を提供し、中・高校生を中心に265名が参加しました。区内にある全19校の高校で2年生を対象に将来の夢や仕事に関するアンケートを実施しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>近年、若者のひきこもりが社会問題化するなど、若者の自立支援が必要とされる状況が続いています。一方、平成28年には選挙権年齢が18歳に引き下げられ、令和4年には成人年齢も引き下げられるなど、若者層への社会参加を促す動きが顕著になっています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>成人祝賀の会の参加者から「大人になったことを自覚し、社会を支える立場として頑張っていきたいと思った。」「旧交を温めながら、杉並区で生まれ育ったことを嬉しく感じた。後輩のため、地域のために役に立ちたいと思えた」など、参加したことで責任感や自覚が芽生えるきっかけとなったとの意見がありました。夏のボランティア体験の参加者アンケートからは「将来の職業選択の際に参考となる経験ができた」「将来の夢に向かって前進できた」などの意見を得ています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>成人祝賀のつどいの出席率は、20年前の30%前後から徐々に上昇し、過去10年は40%～50%で推移しています。今後も同程度の出席率が見込まれますが、より多くの出席となるよう、新成人が求めるアトラクションの実施などを検討しながら開催していきます。また、令和4年には成人年齢が引き下げられることから、事業のあり方を検討していきます。若者の自立や社会参加を促す取組は今後も不可欠であり、時代に即した改善を図りながら推進していきます。</p>			
評価と課題		<p>「成人祝賀のつどい」は、参加者からの喜びや自覚が芽生えたとの声のほか、参加者周辺の大人からはイベント化しない式典としての形式を評価する声も聞かれました。しかし、令和4年に向けて、開催方法等の抜本的な見直しが必要となります。夏の体験ボランティアは対象が青少年であることから社会福祉協議会の事業を支援する形で実施していましたが、協力事業者及び参加者が確保できるようになりました。将来の夢と仕事に関するアンケートは、今後も設問の見直し等を行いながら、調査によって次世代を担う高校生の声により効果的に区の施策に活かせるよう努めていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>「成人祝賀のつどい」は行財政改革推進計画に基づき、令和元年度当初に広告代理店と契約し、会場内及び配布物での広告掲載により歳入確保を図ります。社会福祉協議会と協働で実施していた夏のボランティア体験事業は、開始からこの間、区が関わることで事業の周知が行き渡り、協力事業者や参加者の増加につなげることができたため、令和元年度より社会福祉協議会の単独事業に移行しました。将来の夢と仕事に関するアンケートは、継続して区内全高校からの協力を得られるよう、内容や実施方法の改善を図りながら実施します。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00270 ）

事務事業名称		学童クラブ事業			款	04	項	02	目	01	事業	034	整理番号	282
現担当課名		児童青少年課			係名		管理係		連絡先電話番号		4402		昨年度整理番号	288
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分		既定事業
事務事業の概要	事業開始	昭和39年度												
	平成30年度担当課名	児童青少年課									事業評価区分		一般	
	対象	保護者が就労等で昼間留守家庭となる区内在住・在学の小学生			根拠法令等		(1)		児童福祉法第6条の3第2項		(2)		杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則	
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	家庭、学校、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図るなど、児童の健全育成支援を目的とする。			活動指標		指標名（ 1 ）		学童クラブ数		指標名（ 2 ）		受入可能枠	
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	児童一人ひとりが尊重され、安心して安全に、楽しく過ごせる放課後等の集団生活の場を提供する。 児童の受入時間 平日 下校時から午後6時まで（延長利用は午後6時30分まで、学校休校日は午前8時30分から受入） 土曜日 午前8時30分から午後5時まで 休業日 日曜、休日、年末年始			成果指標		指標名（ 1 ）		入会児童数		指標名（ 2 ）		待機児童数	
				指標説明				4月時点の入会児童数		指標説明		翌年4月時点の待機児童数		
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度					
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）					
指標	活動指標（ 1 ）	1	か所	49	49	49	48	48	47	100.0				
	活動指標（ 2 ）	2	人	4,376	4,495	4,495	4,720	4,720	4,930	100.0				
	成果指標（ 1 ）	3	人	4,018	4,100	4,172	4,681	4,324	4,937	92.4				
	成果指標（ 2 ）	4	人	199	0	255	0	228	0	0.0				
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	357,507	439,649	431,849	489,623	477,834	685,775	平成30年度予算執行率（%）	97.6			
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		経費の増は学童クラブ入会児童数の増によるものです。		
	（内）委託費	7	千円	325,660	406,581	400,511	453,751	444,398	647,265					
	職員数	常勤職員数	8	人	85.60	75.10	85.20	79.40	85.61	82.00				
		再任用職員数	9	人	3.60	4.40	4.00	5.80	4.00	3.40				
		非常勤職員数	10	人	3.00	2.90	32.00	30.40	31.00	29.70				
	人件費	常勤職員分	11	千円	732,907	643,006	731,953	682,125	721,350	690,932				
		再任用職員分	12	千円	15,804	19,316	17,712	25,682	17,736	15,076				
		非常勤職員分	13	千円	8,913	8,616	94,208	89,498	95,759	91,743				
	総事業費	14	千円	1,115,131	1,110,587	1,275,722	1,286,928	1,312,679	1,483,526					
	単位当たりコスト	15	円	22,757,776	22,665,041	26,035,143	26,811,000	27,347,479	31,564,383					
	財源	受益者負担分	16	千円	165,781	170,603	174,146	185,207	184,061	208,819				
		国からの補助金等	17	千円	155,047	4,139	175,110	175,110	174,311	176,439				
		都からの補助金等	18	千円	155,047	4,139	175,110	114,824	174,311	176,439				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計		20	千円	475,875	178,881	524,366	475,141	532,683	561,697					
差引：一般財源		21	千円	639,256	931,706	751,356	811,787	779,996	921,829					
受益者負担比率	22	%	14.9	15.4	13.7	14.4	14.0	14.1						

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	282
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		学童クラブ運営業務委託	12	所	437,852
		民間学童クラブ運営費助成	2	所	21,532
		おやつ代助成	536	人	10,271
		その他(事務費ほか)			8,179
	(2) 事業実績	<p>効率的な学童クラブ運営を行うため、昨年度に引き続き、12所の学童クラブの運営業務を社会福祉法人等の事業者へ委託するとともに、令和元年度から新たに3所の委託を実施するため、事業者の公募・選定や引継ぎ等の準備を進めました。</p> <p>また、令和元年度からの学童クラブの利用時間延長に向けて、3所の学童クラブでモデル実施を行うなど、その準備を進めました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>女性の就業率の高まりを背景とした共働き家庭の増加や核家族化の進展等による保育需要の高まりに連動し、学童クラブ需要も年々増加しています。入会児童数は、この10年間で約1.5倍となり、約1,600人増加しています。</p> <p>【入会児童数】 平成21年4月：3,040人 平成29年4月：4,172人 平成30年4月：4,324人 平成31年4月：4,604人</p> <p>【待機児童数】 平成21年4月：17人 平成29年4月：199人 平成30年4月：255人 平成31年4月：228人</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>「学年が上がると学童クラブに入れなくなることがある。希望する者は、必ず入会できるようにしてほしい」、「学校がある日は学童クラブに入会できなくても良いが、夏休みなどは必ず預かってもらえる居場所がほしい」、「安心して利用できるよう、学校内に移設してほしい」などの声が寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>今後とも、保育需要に引き続いて学童クラブ需要も増加していくことが予測されることから、引き続き、各学童クラブの状況等に応じて必要な待機児童対策を進める必要があります。</p>			
	評価と課題	<p>5所の学童クラブにおいて、施設の改修等を行い261名の受入数の拡大を図りましたが、全体として待機児童の解消には至りませんでした。今後とも、各学童クラブの状況等に応じて受入枠の拡大を図っていきます。</p> <p>また、平成31年4月から全学童クラブで実施する利用時間延長のための検討・準備等を進めました。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・実施主体の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>新たに3所(うち1所は規模拡充)の学童クラブを委託するため、職員人件費の削減が図られる一方、学童クラブ委託料が増加するため、全体の事業コストは拡充となります。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00271)

事務事業名称 児童健全育成事業			款 04	項 02	目 01	事業 035	整理番号 283			
現担当課名 児童青少年課		係名 児童館運営係 事業係			連絡先電話番号 4402	昨年度整理番号 289				
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和41年度	実行計画事業 目標 05 施策 24 計画事業 03			主要事業(区政経営報告書掲載事業)				
	平成30年度担当課名	児童青少年課				事業評価区分 一般				
	対象	18歳未満の児童及び保護者、児童の健全育成支援の活動を行う団体・個人等			根拠法令等 (1) (2)	児童福祉法第35条、同法第40条 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則等				
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	児童青少年センター、児童館及び子ども・子育てプラザにおける事業の充実を図り、児童の自主性、社会性、創造性等を培い、その健やかな成長を支援する。			活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	センター及び児童館数 子ども・子育てプラザ数				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	児童館の自由利用のほか、定例活動(工作、調理等)や、特別行事(スポーツ大会・遠足・講演会・祭り・キャンプ等)等を実施する。 児童青少年センターの自由利用のほか、各種事業(職員企画、中高校生運営委員会企画事業等)を実施する。 ○子ども・子育てプラザでの子育てに関する各種講座や遊びのプログラムの実施、各種サービスの情報提供と利用相談を実施する。 放課後等居場所事業を実施する。			成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	年間延べ利用者数(センター及び児童館) 年間延べ利用者数(子ども・子育てプラザ)				
区分		単位	平成28年度 実績	平成29年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	平成30年度 対計画比(%)			
指標	活動指標(1)	1 館	41	41	41	39	39	38	100.0	
	活動指標(2)	2 館	1	1	1	3	3	4	100.0	
	成果指標(1)	3 人	1,625,155	1,600,000	1,583,898	1,600,000	1,549,985	1,600,000	96.9	
	成果指標(2)	4 人	17,900	50,000	59,299	100,000	157,317	207,000	157.3	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	372,417	406,674	393,609	138,533	135,330	203,048	平成30年度 予算執行率(%) 97.7	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	1,229	19,826	15,795	36,946	36,576	81,500		
	職員数	常勤職員数	8 人	114.10	110.10	113.00	105.30	113.00	107.70	
		再任用職員数	9 人	7.20	8.80	9.00	13.10	14.00	11.80	
		非常勤職員数	10 人	96.00	99.00	70.00	66.60	67.00	64.30	
	人件費	常勤職員分	11 千円	976,924	942,676	970,783	904,632	952,138	907,480	
		再任用職員分	12 千円	31,608	38,632	39,852	58,007	62,076	52,321	
		非常勤職員分	13 千円	285,216	294,129	206,080	196,070	206,963	198,623	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	1,666,165	1,682,111	1,610,324	1,297,242	1,356,507	1,361,472		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	40,638,171	41,027,098	39,276,195	33,262,615	34,782,231	35,828,211		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	1	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	3,993	150,786	4,125	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	3,993	150,786	4,125	19,666	9,150	18,689	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	7,986	301,573	8,250	19,666	9,150	18,689		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	1,658,179	1,380,538	1,602,074	1,277,576	1,347,357	1,342,783		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

				整理番号	283
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		児童青少年センター事業	1	館	4,398
		児童館、子ども・子育てプラザ事業	41	館	18,623
		児童館中・高生事業	41	館	833
		放課後等居場所事業	2	校	33,399
		その他（管理運営費、非常勤職員報酬・賃金の支払等）			78,077
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>従前のおおりに児童青少年センター及び児童館における児童健全育成事業を実施するとともに、区立施設再編整備計画に基づき、児童館機能の継承・発展を図るため、子ども・子育てプラザ天沼の新規開設（4月）、成田西児童館を転換しての子ども・子育てプラザ成田西の新規開設（8月）を行いました。また、成田西児童館の転換に伴い、小学生の放課後等の居場所として、平成30年4月から杉並第二小学校で放課後等居場所事業を開始しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>近年、児童館では、乳幼児親子と小学生の学童クラブ利用が大幅に伸びる一方、中・高校生の利用は減少傾向にあるなど、利用状況が変化してきています。限られたスペースの中で、幅広い年齢層のニーズを満たす事業・サービスを展開していくことが難しくなっています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>「子ども・子育てプラザになって、安心して乳幼児を連れていつでも気軽に利用できるようになった」、「放課後等居場所事業は、帰宅せずにそのまま放課後を過ごすことができるので、子どもが移動するときの心配が無くなり、安心して遊びに出すことができた」などの声が寄せられる一方、「様々な年齢層の子どもや多世代が交流できる機会が増えると良い」、「放課後等居場所事業の内容を充実してほしい」などの声が寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>引き続き、児童館施設の再編整備を計画的に進め、子どもの発達段階に応じた居場所の充実・発展を図っていきます。</p>			
評価と課題		<p>子ども・子育てプラザ成田西の利用者数は、前年度の児童館の利用状況と比較すると、乳幼児親子（子ども・子育てプラザ成田西の利用）が約3.3倍、小学生（放課後等居場所事業の利用）が約1.2倍になるなど、従来の児童館機能を適切に継承・発展することができました。今後とも、これらの実績等を踏まえ、児童館の再編整備の取組を的確かつ丁寧に進めていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>区立施設再編整備計画に基づき、放課後等居場所事業を新たに2小学校で実施します。児童館再編による職員人件費の削減が図られる一方、放課後等居場所事業の実施に係る経費（委託費）が増加する等のため、全体の事業コストは拡充となります。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00273)

事務事業名称		子ども国内交流事業			款	04	項	02	目	01	事業	037	整理番号	285	
現担当課名		児童青少年課			係名	事業係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	291		
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成2年度													
	平成30年度担当課名	児童青少年課											事業評価区分	一般	
	対象	区内在住の小学生(4~6年生)			根拠法令等	(1)		杉並区立児童青少年センター及び児童館事業運営要綱							
						(2)		杉並区都市交流実施要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	友好都市の子どもとの交流を通して、児童の健全育成を図る。			活動指標	指標名(1)		交流自治体数							
					指標説明										
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	名寄市との交流会を開催する。 東吾妻町との交流会を開催する。			成果指標	指標名(1)		参加者数								
					指標説明										
					指標名(2)										
					指標説明										
区分	単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度							
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				計画	対計画比(%)				
指標	活動指標(1)	1	2	2	2	2	2	2	100.0						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3	50	50	50	50	50	50	100.0						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	5,642	7,484	6,724	7,487	6,076	7,344	平成30年度 予算執行率(%)	81.2				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 賃借料における落札差金や、行程変更による使用料の減により、執行率が90%を下回りました。					
	(内)委託費	7	千円	0	0	0	2,008	2,008	2,011						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.10	1.00	1.10	1.00	1.10		1.00				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00				
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00				
	人件費	常勤職員分	11	千円	9,418	8,562	9,450	8,591	9,269		8,426				
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0				
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0		0				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	15,060	16,046	16,174	16,078	15,345	15,770						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	7,530,000	8,023,000	8,087,000	8,039,000	7,672,500	7,885,000						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0				
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0				
その他の補助金等		19	千円	2,653	3,533	2,861	3,061	2,614	3,605						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	2,653	3,533	2,861	3,061	2,614	3,605						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	12,407	12,513	13,313	13,017	12,731	12,165						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	285
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	杉並区・名寄市子ども交流会の開催	1	回	4,740
		杉並区・東吾妻町子ども交流会の開催	1	回	1,336
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	<p>名寄市との交流会（7月名寄編：3泊4日、8月杉並編：3泊4日 参加児童各自治体25名・計50名） 東吾妻町との交流会（8月東吾妻編：2泊3日、8月杉並編：1泊2日 参加児童各自治体25名・計50名）</p> <p>名寄市との交流会では、台風接近による航空機の欠航により、名寄市児童が予定日に帰路に付くことができなかったため、ゆう杉並に延泊して運行再開を待つ対応を図りました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>杉並区の交流自治体である名寄市との子ども交流会は、平成5年に、名寄市（当時の風連町）の小学生を杉並区に招待することから始まり、現在では、子どもたちが相互に訪問・交流し、友好を深めています。同じく交流自治体である東吾妻町との交流会は、平成2年から実施し、相互に訪問・交流しています。</p> <p>当初は、交通実費等について参加者の一部負担がありました。平成24年度からは次世代育成基金活用事業として、参加費を徴収せずに実施しています。</p> <p>なお、多くの児童の参加の機会を保障するため、一度参加した児童は、再び参加できないこととしています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>参加した児童からは、「貴重な体験ができた」、「友人が増えた」、「東京との違いを感じる事ができた」等の感想がありました。保護者からは、「短期間にも関わらず子どもの成長が感じられた」、「このような体験機会を増やしてほしい」等の意見が寄せられています。</p> <p>保護者からは、「このような体験機会を増やしてほしい」などの声が寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>毎年度、募集人数の4倍以上の応募があることから、今後もこうした交流や体験事業の充実を図る必要があります。</p>			
	評価と課題	<p>子どもたちの貴重な体験機会として、保護者や学校関係者、寄附者等から高い評価を得ています。また、交流自治体間の相互訪問は、将来にわたる友好関係の礎になるものであり、今後も、より意義のある取組となるよう、運営方法やプログラム内容等の改善を図っていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	II 事業の改善の方向性	<p>来年度においても、現在の交流会の実施方法を基本とし、事業を実施していきます。</p>		

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00282 ）

事務事業名称 次世代育成基金の運営			款 04	項 02	目 01	事業 050	整理番号 291			
現担当課名 児童青少年課		係名 青少年係		連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号 297				
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 既定事業				
事業開始 平成24年度		実行計画事業 目標 05 施策 24 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
平成30年度担当課名 児童青少年課					事業評価区分 一般					
対象 区内の小・中・高校生、支援する大人		根拠法令等 (1) (2)		杉並区次世代育成基金条例 杉並区次世代育成基金推進会議設置要綱						
事務事業の概要	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） 子どもたちが、国内外の文化・芸術・自然に触れ、またはスポーツ交流に参加する機会を創出するため、基金を運営する。 基金への理解・賛同を得られるよう周知し、募金の呼びかけを図る。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）		基金活用事業件数 基金活用事業参加者募集（定員）数					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段） 区内の小・中・高校生を対象とした国内外の体験交流事業等の実施に対し、子どもの参加に係る経費の2分の1を基金から充当する。 基金の趣旨を広く区民に周知し、寄附を募る。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明		基金活用事業参加児童・生徒数 派遣型事業は参加実人数、講座型事業は参加延べ人数 寄附者件数					
区分		単位	平成28年度 実績	平成29年度 計画 実績		平成30年度 計画 実績		令和元年度 計画	平成30年度 対計画比(%)	
指標	活動指標（1）	1 件	10	12	12	11	11	14	100.0	
	活動指標（2）	2 人	717	500	473	744	733	774	98.5	
	成果指標（1）	3 人	740	500	1,192	744	749	774	100.7	
	成果指標（2）	4 件	710	1,000	1,275	1,000	1,802	1,500	180.2	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	15,031	36,936	32,825	26,399	22,072	20,149	平成30年度 予算執行率(%) 83.6	
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 民間事業者からの提案事業に対する1事業当たりの助成金額が見込みより少なかったため、執行率が90%を下回りました。	
	（内）委託費	7 千円	183	206	197	286	179	272		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.10	0.15	0.40	0.50	0.38		0.80
		再任用職員数	9 人	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.60	0.50	0.70	1.00	0.66		0.70
	人件費	常勤職員分	11 千円	856	1,284	3,436	4,296	3,202		6,741
		再任用職員分	12 千円	4,390	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	1,783	1,486	2,061	2,944	2,039		2,162
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	22,060	39,706	38,322	33,639	27,313	29,052		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	2,206,000	3,308,833	3,193,500	3,058,091	2,483,000	2,075,143		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	5,806	15,067	26,371	14,549	16,898	14,549		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	5,806	15,067	26,371	14,549	16,898	14,549		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	16,254	24,639	11,951	19,090	10,415	14,503		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	291
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		基金の積立	1	回	14,971
		基金活用事業助成金の交付	4	件	6,407
		次世代育成基金活用事業実施報告書の作成	6,000	部	276
		寄附募集チラシの作成	1,610	部	92
		その他（寄附者宛御礼状及び実施報告書の送付、啓発用消耗品の購入）			326
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>区主催事業7件のほか、民間事業者による提案事業4件を実施し、これらの基金活用事業に合計749名（前年度1,183名）の児童・生徒が参加しました。</p> <p>また、基金への寄附は、区広報やリーフレット配布のほか、敬老会やすぎなみフェスタ等のイベント時の呼びかけ等により、合計1,802件（前年度1,275件）で、13,625,432円（前年度23,756,150円）となりました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成24年度：基金開設 平成27年度：民間提案事業に対する「次世代育成基金活用事業助成」を開始 平成29年度：「ふるさと納税ポータルサイト」での寄附受付を開始</p> <p>【寄附件数 / 寄附額】</p> <p>H24： 35件 / 4,307,876円 H25： 221件 / 30,353,809円 H26： 419件 / 10,654,563円 H27： 730件 / 19,009,210円 H28： 710件 / 5,614,487円 H29： 1,275件 / 23,756,150円 H30： 1,802件 / 13,625,432円</p> <p>【民間事業助成件数】 H27： 1件 H28： 3件 H29： 5件 H30： 4件</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>基金活用事業の参加者からは、「普段の学校生活では体験できない貴重な体験ができた」「将来の夢や目標について考えるきっかけとなった」などの多くの肯定的な意見のほか、寄附者に対する感謝の言葉も届いています。</p> <p>一方、寄附者からは「青少年の将来のために少しでも役に立ちたい」「何事にも挑戦する青少年を育成するために活用してほしい」などの声が寄せられました。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>基金活用事業に参加を希望する児童・生徒は、今後も増加すると見込まれます。</p> <p>また、引き続き基金活用事業のPR等に取り組むことで、基金へ寄附する区民の輪を一層広げることにつながります。</p>			
評価と課題		<p>基金活用事業を11件（区主催事業7件、民間提案事業4件）実施し、参加した749名の児童・生徒に普段経験できない交流・体験機会を提供することができました。また、寄附件数が増加傾向にあることは、本基金制度に対する区民等の理解が深まっているものと評価できます。</p> <p>一方、民間事業者による提案事業は、複数年にわたる継続事業による固定化傾向があるため、継続実施可能回数（上限）を設定するなどの見直しを図っていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>引き続き、各実施状況等を踏まえた基金活用事業の改善・充実や寄附募集の効果的な取組に努めていくこととし、事業コストについては現状維持を見込んでいます。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00686)

事務事業名称		子どもプレーパーク事業			款	04	項	02	目	01	事業	063	整理番号	300		
現担当課名		児童青少年課		係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	306				
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成27年度														
	平成30年度担当課名	児童青少年課			事業評価区分	一般										
	対象	児童			根拠法令等	(1)		杉並区子どもプレーパーク事業実施要綱								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標	プレーパーク実施回数										
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				指標名(1)	自由な遊びの場を提供し、火おこしや水遊び、木登りなどの体験を通じて、子どもたちの自主性や社会性、創造力を育み、地域社会の中で健やかな成長を推進する。										
				指標名(2)												
				指標説明												
				成果指標	プレーパーク参加者数											
				指標名(1)	自由な遊びの場を提供する。火おこし、水遊び、木登り、工作等の子どもの活動・遊びを支援する。地域住民の交流活動等の場を提供する。											
				指標説明												
				指標名(2)												
				指標説明												
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	回	48	58	55	58	61	64	105.2						
	活動指標(2)	2														
	成果指標(1)	3	人	7,822	8,000	9,637	10,000	11,716	11,000	117.2						
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	5,543	5,539	5,539	6,309	5,830	5,914	平成30年度予算執行率(%)	92.4					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	0	0	0	5,967	5,830	5,884							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,712	1,712	1,718	1,718	1,685	1,685						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	7,255	7,251	7,257	8,027	7,515	7,599						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	151,146	125,017	131,945	138,397	123,197	118,734						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	2,747	0	2,747	0	2,915	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	2,747	0	2,747	0	2,915	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	4,508	7,251	4,510	8,027	4,600	7,599							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	300
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		子どもプレーパーク事業委託費の支出	1	団体	5,830
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	平成30年度から委託事業として実施し、区立公園を会場としたプレーパーク「杉並冒険遊び場」を開催（柏の宮公園35回、5,384人参加、井草森公園21回、4,895人参加、その他の公園5回、1,437人参加）しました。前年度と比較し、参加者は延べ2,079人増えました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	区とNPO法人との協働提案事業として平成27年7月から子どもプレーパーク事業を開始し、平成30年度からは区の委託事業として継続しており、平成30年度までに、延べ196回、33,414名の参加者がありました。 【実施回数】 平成27年度：32回 平成28年度：48回 平成29年度：55回 平成30年度：61回 【参加者数】 平成27年度：4,239人 平成28年度：7,822人 平成29年度：9,637人 平成30年度：11,716人			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	参加した児童の保護者からは「普段の公園の利用の中では得られない貴重な体験の場になった」、「実施会場や開催日を増やして欲しい」といった意見が寄せられています。また、委託事業者からは、新たな拠点場所を拡充したいとの要望があります。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	参加人数は年々増えており、子どもたちの健全な育成に一定の効果が期待されることから、今後も継続して実施していきます。			
	評価と課題	平成30年度から区の委託事業として実施し、参加者増といった効果が出ていることから、回数の増や新たな開催場所の検討が課題となっています。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	年々参加者が増えているといった実績や利用者からの要望等を踏まえ、実施回数の増や実施場所の拡大等を含め、より充実した事業となるよう検討していきます。			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00292)

事務事業名称		児童青少年センター・児童館等の維持管理			款	04	項	02	目	02	事業	002	整理番号	305	
現担当課名		児童青少年課		係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	310			
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和41年度													
	平成30年度担当課名	児童青少年課			事業評価区分	施設維持管理									
	対象	児童青少年センター、児童館、子ども・子育てプラザ、学童クラブの各施設			根拠法令等	(1)	児童福祉法第35条、同法第45条								
						(2)	杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	○施設の実情にあわせた修繕や設備等の整備を適切に行い、安全・安心で快適に利用できる施設を維持することで、児童の健全育成支援の充実に図る。			活動指標	管理施設数(児童青少年センター、児童館、学童クラブ、子ども・子育てプラザ含む)									
				指標名(1)											
				指標説明											
				指標名(2)											
				指標説明											
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			成果指標											
	施設の保守点検、小規模修繕を行う。 施設の設備、維持管理物品等を購入する。 施設の光熱費等公共料金を支払う。			指標名(1)											
				指標説明											
				指標名(2)											
				指標説明											
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度	94.3					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 館	54	55	55	55	55	57	100.0						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	277,827	299,585	284,599	350,478	330,365	341,239	平成30年度 予算執行率(%)						
	(内)投資的経費等	6 千円	4,145	4,096	3,501	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	168,709	183,904	171,882	228,595	212,729	215,124							
	職員数	常勤職員数	8 人	23.70	22.80	23.60	22.10	23.50	22.40						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	1.00	1.40	1.00	1.00	1.00	1.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	202,919	195,214	202,748	189,861	198,011	188,742						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	2,971	4,159	2,944	2,944	3,089	3,089						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	483,717	498,958	490,291	543,283	531,465	533,070							
	単位当たりコスト(14-6)÷1)	15 円	8,880,963	8,997,491	8,850,727	9,877,873	9,663,000	9,352,105							
	財源	受益者負担分	16 千円	5,823	4,342	5,187	4,611	4,365	4,706						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	3,400	8,713	6,320						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	63,686	8,713	6,320						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	5,823	4,342	5,187	71,697	21,791	17,346							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	477,894	494,616	485,104	471,586	509,674	515,724							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	1.2	0.9	1.1	0.8	0.8	0.9								

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

				整理番号	305	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託		55	所	170,284
		施設修繕		55	所	31,793
		光熱水費				81,087
		その他（電話料・手数料・備品購入 ほか）				47,201
(2) 事業実績	<p>各施設を安全・快適に利用できるように、施設保守管理委託契約に加え、計画的な備品・消耗品の購入や迅速かつ効率的な施設・設備の修繕を行い、適切な維持管理に努めました。また、学童クラブの受入数の拡大に伴い、ランドセルロッカーの増設など、育成環境の整備を図りました。施設修繕に当たっては、将来的な大規模修繕の計画や関連諸室の改修等の予定を確認し、工事内容が重複しないよう計画的な修繕を進めました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題	<p>児童館の多くは昭和40年～50年代に建設され、老朽化による大規模修繕の必要性は年々高まっています。また、近年では、乳幼児親子の利用増加や学童クラブの需要増加など、建設当初に想定した利用状況と大きく異なっています。今後は、老朽化が進む施設の適切な維持管理を図るとともに、区立施設再編整備計画に基づき、児童館施設の再編整備を着実に進めていきます。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
		II 事業の改善の方向性				
今後の進め方						

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00305 ）

事務事業名称		学童クラブの整備				款	04	項	02	目	03	事業	037	整理番号	310		
現担当課名		児童青少年課		係名		管理係		連絡先電話番号		4402		昨年度整理番号		317			
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分				投資事業	
事務事業の概要	事業開始		平成24年度		実行計画事業		目標 05		施策 24		計画事業 02		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成30年度担当課名		児童青少年課		事業評価区分								一般				
	対象		施設管理		根拠法令等		(1)		児童福祉法第6条の3第2項								
							(2)		杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		学童クラブの入会需要の増加に対応するため、児童館の一部諸室を育成室等へ転用する等の取組により、学童クラブ受入枠拡大を図る。		活動指標		指標名（ 1 ）		改修実施児童館（クラブ）数								
						指標説明											
						指標名（ 2 ）											
						指標説明											
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		児童館の一部諸室を育成室等へ転用する改修等を行う。		成果指標		指標名（ 1 ）		児童館（クラブ）改修等による受入枠の拡大数									
						指標説明											
						指標名（ 2 ）											
						指標説明											
区分		単位		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平成30年度					
				実績		計画		実績		計画（目標値）		実績		計画 対計画比(%)			
指標	活動指標（ 1 ）		1 所		2		3		3		2		3		2 150.0		
	活動指標（ 2 ）		2														
	成果指標（ 1 ）		3 人		87		109		109		145		166		99 114.5		
	成果指標（ 2 ）		4														
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		40,487		68,421		62,524		240,122		226,137		40,846 平成30年度 予算執行率(%) 94.2		
	（内）投資的経費等		6 千円		40,487		68,421		62,524		235,667		216,579		35,043 特記事項		
	（内）委託費		7 千円		36,972		68,421		62,524		235,667		222,183		36,031		
	職員数	常勤職員数		8 人		0.10		0.10		0.10		0.10		0.10		0.30	
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
		非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
	人件費	常勤職員分		11 千円		856		856		859		859		843		2,528	
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		0		0		0	
		非常勤職員分		13 千円		0		0		0		0		0		0	
	総事業費 (5+11+12+13)		14 千円		41,343		69,277		63,383		240,981		226,980		43,374		
	単位当たりコスト ((14-6)÷1)		15 円		428,000		285,333		286,333		2,657,000		3,467,000		4,165,500		
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0	
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		35,416		0	
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		8,854		0	
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		0		0		0		0		44,270		0			
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		41,343		69,277		63,383		240,981		182,710		43,374			
受益者負担比率 (16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	310	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		学童クラブ受入枠拡大のための改築工事（浜田山第二）			127,644
		学童クラブ受入枠拡大のための施設改修（高井戸）			78,840
		学童クラブ受入枠拡大のための施設改修（高井戸西）			1,895
		学童クラブ受入枠拡大のための施設改修（今川北）			8,200
		その他（初度消耗品、備品等）			9,558
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	浜田山第二学童クラブを改築し、平成30年11月に学童クラブ受入数を49人から100人に、また平成31年2月に高井戸西学童クラブを改修し、受入数を74人から95人に拡大しました。平成31年4月の開所に向け、高井戸区民事務所会議室を改修して、高井戸児童館内学童クラブの受入数を126人から220人に拡大するための準備等を行いました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	女性の社会進出による共働き家庭の増加や核家族化の進展等による保育需要の高まりに連動し、学童クラブ需要も年々増加しています。 区の学童クラブにおいては、小学校内での実施を基本とし、学校改築に合わせた整備や余裕教室、敷地の一部の活用などにより、児童の安全と今後の需要に応じた育成環境を確保していくこととしました。それまでの間、増加する学童クラブ需要に対応するため、児童館施設の改修等により受入数を拡大していくこととしています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	引き続き、待機児童の解消を求める声が寄せられています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	当面は保育需要に連動して、学童クラブ需要も増加していくと予測されるため、各学童クラブの状況等に応じた受入数の拡大を図る必要があります。			
評価と課題		浜田山第二学童クラブ、高井戸西学童クラブ、高井戸学童クラブについては、受入数の拡大を図ったことにより平成31年4月の待機児童数ゼロを実現しました。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	待機児童数228人（平成31年4月1日時点）のうち、待機児童が15人以上発生した4か所の学童クラブに対する緊急対策を検討・実施するほか、そのほかの学童クラブについても中・長期的な児童数推移を見据えた整備を検討・具体化し、受入数の拡大を図るため、予算拡充が必要となります。			

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00687 ）

事務事業名称 桃井第二小学校学童クラブの整備			款 04	項 02	目 03	事業 043	整理番号 312				
現担当課名 児童青少年課		係名 管理係		連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号 319					
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 投資事業					
事務事業の概要	事業開始	平成27年度	実行計画事業 目標 05 施策 24 計画事業 02			主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
	平成30年度担当課名	児童青少年課				事業評価区分 一般					
	対象	施設管理		根拠法令等 (1) (2)	児童福祉法第6条の3第2項 杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	荻窪北学童クラブの移転スペースを桃井第二小学校内に確保し、育成環境の充実と増加する需要への対応を図る。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	学童クラブ移転整備						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	学童クラブの入会需要の増加に対応するとともに荻窪北学童クラブの移転スペースを確保及び入会児童の行き帰りの安全確保のため、桃井第二小学校の校舎内に学童クラブを整備する。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明							
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度	対計画比(%)	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画			
指標	活動指標（1）	1	所	0	1	0	1	1	0	100.0	
	活動指標（2）	2									
	成果指標（1）	3									
	成果指標（2）	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	4,244	74,546	70,070	126,067	126,057	0	平成30年度 予算執行率(%) 100.0	
	（内）投資的経費等	6	千円	4,244	74,546	70,070	124,867	124,861	0	特記事項	
	（内）委託費	7	千円	4,244	71,359	67,492	124,867	124,861	0		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.20	0.00	
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11	千円	856	856	859	859	1,685	0	
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	5,100	75,402	70,929	126,926	127,742	0		
	単位当たりコスト (14÷6)÷1	15	円	0	856,000	0	2,059,000	2,881,000	0		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17	千円	0	0	12,930	0	39,645	0	
		都からの補助金等	18	千円	0	0	3,231	0	9,909	0	
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	16,161	0	49,554	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	5,100	75,402	54,768	126,926	78,188	0		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	312
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	改築工事（桃井第二小学校学童クラブ）	1	所	122,917
		改修工事（杉並保健所内）	1	所	1,943
		初度調弁（初度消耗品、初度備品）			1,197
	(2) 事業実績	杉並保健所4階からの移転・復旧工事を計画どおり平成30年度内に実施し、平成31年4月開所に向け、桃二学童クラブの建設工事が竣工しました。これにより、桃二学童クラブの受入数は、旧荻窪北学童クラブの100人から181人に拡大を図るとともに、民間委託に向け運営委託事業者の選定を行いました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	旧荻窪北学童クラブを桃二学童クラブで受け入れることで受入数を拡大しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	特にありませんでした。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	平成31年4月から桃二学童クラブの円滑な運営を図っていきます。			
評価と課題		事業運営の準備委託も順調に実施し、平成31年4月に運営を開始しました。今後とも利用者の声を聴きながら、安定的な運営を図っていきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	II 事業の改善の方向性			
		計画どおり、平成31年4月1日から桃二学童クラブの運営を開始することができましたので、事業を終了しました。			

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00688 ）

事務事業名称 高円寺地域小中一貫教育校学童クラブの整備				款 04	項 02	目 03	事業 044	整理番号 313		
現担当課名 児童青少年課		係名 管理係		連絡先電話番号 4402			昨年度整理番号 320			
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実							予算事業区分 投資事業			
事務事業の概要	事業開始	平成27年度	実行計画事業 目標 05 施策 24 計画事業 02			主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成30年度担当課名	児童青少年課					事業評価区分 一般			
	対象	施設管理		根拠法令等	(1)	児童福祉法第6条の3第2項				
					(2)	杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	高円寺北学童クラブ及び高円寺中央学童クラブの移転スペースを高円寺地域小中一貫教育校の校舎内に確保し、育成環境の充実と増加する需要への対応を図る。			活動指標	指標名（ 1 ）	学童クラブ移転整備			
					指標説明					
					指標名（ 2 ）					
					指標説明					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）				成果指標	指標名（ 1 ）				
	学童クラブの入会需要の増加に対応するとともに高円寺北学童クラブ及び高円寺中央学童クラブを移転して、育成環境の充実と受入数の拡大を図るため、高円寺地域小中一貫教育校の校舎内に学童クラブを整備する。					指標説明				
					指標名（ 2 ）					
					指標説明					
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	
指標	活動指標（ 1 ）	1 所	0	1	0	1	0	1	0.0	
	活動指標（ 2 ）	2								
	成果指標（ 1 ）	3								
	成果指標（ 2 ）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	20,997	28,086	26,664	70,810	70,809	110,840	平成30年度 予算執行率(%) 100.0	
	(内) 投資的経費等	6 千円	20,997	28,086	26,664	70,810	70,809	107,736	特記事項	
	(内) 委託費	7 千円	20,997	28,086	26,664	70,810	70,809	109,640		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.20	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	856	856	859	859	843	1,685	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	21,853	28,942	27,523	71,669	71,652	112,525		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	0	856,000	0	859,000	0	4,789,000		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	4,017	0	6,144	0	16,854	25,614	
		都からの補助金等	18 千円	999	0	1,536	0	4,212	6,408	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	5,016	0	7,680	0	21,066	32,022		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	16,837	28,942	19,843	71,669	50,586	80,503		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

整理番号 313

平成30年度の事業実施状況	内 容		規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	建築建設工事			
その他（ ）					
(2) 事業実績	令和2年4月の開所に向け、平成30年度は、順調に建設工事が進みました。				

事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	高円寺北学童クラブ及び高円寺中央学童クラブを高円寺地域小中一貫教育校の校舎内に移転して、学童クラブを整備し、育成環境の充実と受入数の拡大を図ります。 高円寺北児童館施設の跡地については、今後、行政需要を踏まえて活用策を検討します。高円寺中央児童館については、休館・改修工事のうえ、子ども・子育てプラザに転用します。
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	特にありませんでした。
	今後（3～5年）の予測と方向性	令和2年4月から、移転及び民間事業者へ委託し、運営を開始します。
評価と課題	令和2年4月の開所に向け、建設工事は順調に進捗しました。また令和元年度に運営委託事業者を選定していきます。	

翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
		II 事業の改善の方向性	
	翌年度予算の方向性の理由・内容	令和2年4月の開所に向け、令和元年度は、引き続き、高円寺地域小中一貫教育校学童クラブの建設工事を進めていきます。	

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

整理番号 317

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	増設棟建設及び既存棟改修工事			119,004
		施設設計			5,165
		地盤調査・測量			810
		工事監理			47
		その他（初度備品、消耗品等）			1,176
	(2) 事業実績	計画どおり、建設工事が竣工し、平成31年4月、桃五学童クラブの受入数を66人から165人に拡大しました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	桃五学童クラブ受入数を拡大するため、増設工事を行い、学童クラブの需要増への対応や育成環境の充実を図りました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	特になし			
	今後（3～5年）の予測と方向性	平成31年4月から受入数を拡大した運営を開始しました。			
	評価と課題	計画どおり、桃五学童クラブの受入数を66人から165人に拡大するための建設工事が竣工しました。また、平成31年4月1日の入会児童数は162人で、待機児童を解消することができました。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	計画どおり下井草学童クラブを移転・統合した桃五学童クラブを平成31年4月1日から開所することができましたので、事業を終了しました。			

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

			整理番号	319	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		基本設計			2,249
		実施設計			4,500
	その他（ ）				
(2) 事業実績	阿佐谷児童館を移転し、阿佐谷地域区民センターとの統合を図り、複合施設として整備するための基本設計を行いました。また、令和元年10月の完了を予定とし、実施設計に着手しました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	杉並第一小学校の近隣病院の移転・建替え計画を受けて、平成29年度に新たに杉並第一小学校等施設整備等方針を策定しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	工事に際して、騒音や振動、車両進入経路の安全確保に関する要望等があります。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	令和4年度に阿佐谷児童館を移転し、阿佐谷地域区民センターとの複合施設として運営を開始する予定です。			
	評価と課題	当初の計画どおり基本設計を完了するとともに、実施設計に着手しました。工事に関する要望への対応は、説明会等で周知してきたところですが、引き続き丁寧な近隣住民への対応に努め、理解と協力を得ていきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	令和4年度の運営開始に向けて、阿佐谷児童館と阿佐谷地域区民センターとの複合施設の実施設計を引き続き行い、令和2年3月から施設整備に着手します。			